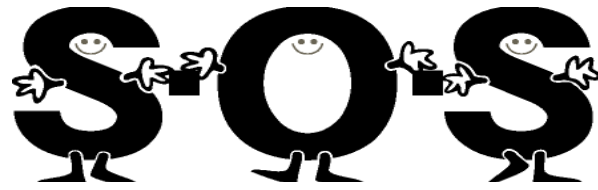


vol. 126通信 (平成23年2月9日発行)



発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
愛知県津島市愛宕町四丁目113
〒496-0036
代表TEL：(0567) 26-3921
FAX：(0567) 26-3922
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

《一日一生／ナイス・デイ》

いつもの散歩コースに愛宕神社がある。距離といい、場所といい、散歩にはうってつけのところだが、寒い日が続くと外出も控え気味。でも1月はやはり年の初め…寒くて愛宕神社までなかなか行けない日には車に乗って津島神社へ。どのお年寄りも皆手を合わせてお参りすることが大好きで、皆さんとっても喜ばれる。喜ばれる姿をみると、つい曜日を変えてまた違うメンバーで参拝に出かける。ついさっきの事は忘れてしまう人もいざ神様の前にくると、きちんと帽子をとり、手を合わせて深々とお辞儀をしてお参りされる。それぞれに何を願っているのだろうか？心の中をのぞいてみたくなる。(O)



《「不安なら…」と「大丈夫！」／ナイス・ホーム》

Yさんは通いの時間中急に血圧が下がってしまい、通院したものの気持ちは不安定。独居なので自宅で一人過ごす夜を考えると心配そう。Sさん。短期入院後、自宅じゃなくてホームへやってきました！！5泊したら自宅へ帰る予定でいたのに、自宅に帰れる日が来ると「やっぱり痛いなあ…」と言い始めました。そんな時、ホームの担当者は本人の性分や状況を考慮し提案します。こんな時こそ安心して過ごして欲しいから。Yさんには「今日は泊まったら？」Sさんには「今日は家に帰って見たら？調子が悪ければ電話ちょうだい。行くから。どうしても駄目だったらまた泊まりに来ればいいんだから。」小規模多機能最大の武器。臨機応変な対応です♪♪日頃の生活を知り、お互いに(?)信頼し合っているからこそ、「きっかけ作りの声掛け」が実行できる(O)



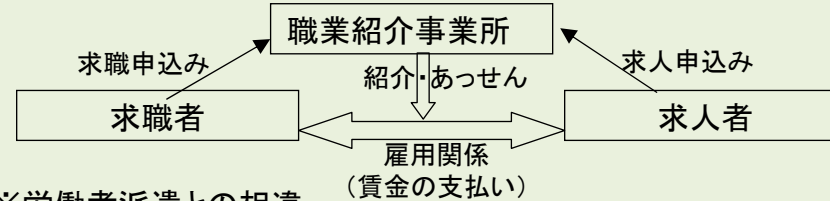
《春よ来い、早く来い／愛宕の家》

昨年末よりめっきり寒くなり、雪降る日もあり、空気も乾燥気味になってくると、愛宕の家でも、「Oさん、熱あります」「Yさんも熱が出ました」「Sさんの咳がひどいです」等という報告が聞こえてくるようになりました。皆さん、高齢でもあることから、状態を把握しながら、ご家族とも相談し受診していただいたり、主治医の定期訪問時に薬を処方して頂いたり、心配は尽きません。でも、元気になっていく姿を見ると、ホッとして嬉しくなり、自然と笑みがこぼれます。そんな姿を見ていると、皆さんが何とか今年の極寒を元気に乗り切って欲しいと思うばかり。(T)

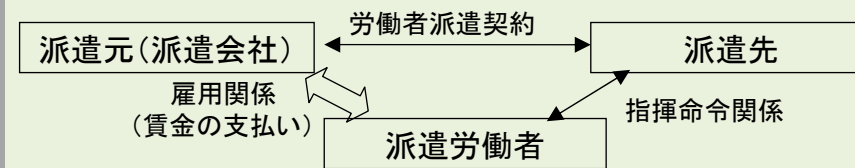


《職業紹介について／つしま紹介所》

職業紹介とは、求人及び求職の申込みを受け、求人者と求職者との間における雇用関係の成立をあっせんすることです。



※労働者派遣との相違
労働者派遣とは、派遣元が雇用する労働者を派遣先に派遣し、派遣先の指揮命令を受けて、労働に従事させることをいいます。したがって、職業紹介とは異なり、派遣先との間で雇用関係はありません。



職業紹介と労働者派遣は混同されやすく、そこで就労する人の雇用関係を十分に認識しておく必要があります。(I)

《テーブルの下で…／ナイス・キッズ》

先日、テーブルの上でおにぎりを作っていると、子ども達が“わあ〜っ、食べていい〜い？”と寄ってきた。“後でみんなで食べるからちょっと待っててえ〜ね”と伝えると、“食べたいなあ〜”と言いながらも待っている大きい子達…。あれっ、チビッコ2人が見当たらない！？と辺りを見渡すと、何やらテーブルの下で物音が…。



のぞいてみると、チビッコ2人、すでにおにぎりのつまみ食いが終了していました。お腹がすいてたんだらうなあ〜♡(笑)(W)

《看護師コーナー／食べること(摂食)・飲み込むこと(嚥下)とその障害～摂食・嚥下とは？～②準備期とは》

まずは、前回の通信が手元があれば読み返してほしい。そして、またまた何か食べながら通信を読んでもらいたい。①の先行期が終わると、②の準備期に入る。(準備期→食べ物を口に入れ、そしゃく(咀嚼)して飲み込みやすい食塊を形成する)

カレーを食べる時、スプーンでカレーとご飯を口の中に取り込んで味いながら、もぐもぐと噛み、唾液と混ぜながら飲み込みやすいよう柔らかくまとめる(=食塊形成)。この運動が成立するには*唇が閉じていること(食べ物が口からこぼれない)*噛める歯がある*舌や咀嚼筋、顎などの協調性がある*噛む力がある*唾液が十分に出る(唾液量が少ないと口の中で食べ物がバラバラになりまとまらない)・・・という機能が必要となる。



今、何かを口に入れて、この機能を果たしていることを意識して感じ取ってほしい。この運動を無意識にしていることが実感できるであろう。ゼリーやペースト状のものでは、舌を上下前後に動かし上顎との間に押し付けている。固形物ではさらに舌を左右に動かして食物を奥歯にのせ、すりつぶしている。下顎は上下だけでなく回旋運動をしていることも感じ取れるだろう。

咀嚼は口の中で嚥下食を作る作業をしていると言えるのだ。息子は5ヶ月となった。母乳以外に口に入れる何か別の物があると認識(先行期)する機能が発達。だが、何が食べ物かを認識し、道具を使い、口に運ぶ機能が未発達。そして、準備期に必要な歯や噛む力がない。そこで、離乳食つまりは嚥下食という形を作り、口に運んであげる。ここまですべてに任せられること。あとは息子自身の機能で胃袋まで到達しているようだ。その証拠に、プクプクだ。そして、喜び、興奮する姿を見ると、食は本能的な欲求であり、それが満たされることの大切さを感じる。生きる力が伝わる。(T)

《2月の利用状況》

☆ナイス・デイ(定員 10名)

日	月	火	水	木	金	土
7	9	8	9	9	8	9

 (数字は定期のご利用者数)
 ☆ナイス・ホーム(定員 17名)・・・登録者 13名
 ☆ナイス・ケア(定員なし)・・・新規サービス大歓迎
 ★愛宕の家(定員 10名)・・・入居者 10名(満室)
 ☆…募集中 / ★…満員 お気軽にお問い合わせ下さい

《訪問介護実習生を受け入れています／ナイス・ケア》

ナイス・ケアでは、ヘルパー養成のため、訪問介護実習生を受け入れています。実習生を伴って訪問すると、「頑張ってるね」と声を掛けて下さる利用者さんもいます。一方で、「ヘルパー以外に知らない顔が来ると緊張するわ」や「実習生の人にジロジロと家の中を見られていい気持ちじゃなかったから、もう連れて来ないで欲しい」と言われる方。どちらも素直な意見。実習生の中には、何も言わなくても礼節をわかまえている人、同行させているスタッフの方が思わず唖然としてしまうような態度の人等、10人10色。実習当日の朝一番に、実習担当者は、本当なら年齢性別関係なく、どんな人にも開ロ一番『訪問実習を受け入れてくれる利用者さんがいるのはありがたいことなんです。勉強のために家の中に入ることを承知してくれるのだから。あなたの態度ひとつが今後の実習生の受入れに関わるんですよ』と理解してもらわなければならない。でも、つい実習生の年齢や人となりを見て躊躇してしまうこと大！(情けないけど…)個の空間、在宅って難しい。それでも実習を通して“心地よい介護サービスを提供したい”という意識を持つ仲間が少しでも増えて欲しい…と実習担当者は今日も奮闘しています。(M)



《編集後記》

寒さのせいかな、冬太りが災いしてか、こここのところ、“腰が重い”と感じることがあります。周りでも「膝が…」「腰が…」という声がチラホラ。自分を守るのには、まずは自分自身から。自分の弱い箇所を自覚し、寒さ対策をしたり、ストレッチをしたり、必要な時は病院に行ったりすることで、自分と上手に付き合っていきたいと思っています。体を取り換えることは出来ません。大事にしなきゃ。(M)